

ロヒンギャとは

ミャンマー西部・ラカイン州に住むイスラム系住民。人口の9割を仏教徒が占めるミャンマーにおいて、半世紀に及び迫害を受けている。



多数派住民であるラカイン人（仏教徒）との争いがあり、両者の間ではたびたび衝突が発生している。わけでも2017年8月の衝突は大規模なロヒンギャへの迫害につながり、およそ70万人が難民としてバングラデシュに逃れた。

17年以前に逃れたロヒンギャも含め、およそ100万人がバングラデシュの難民キャンプで生活していると推測される。